

新しい時代！大阪の元気！堺の元気！ ～地域の元気が、必ず日本を変える～

将来の元気！

小泉さんが総理大臣になって5年。少しは、改革？も進んだかもしれませんが、年金、医療、介護など社会保障に対する不安はまったく払拭されてないのは気のせいでしょうか？特に私たちや、今働き盛りの世代が将来どれぐらいの負担を必要とするのか、まったく明らかにされていません。これからの世代にツケを残すような制度が、果たして立派な制度と言えるでしょうか？少子化高齢化社会を見据えたもっとわかりやすい社会保障制度を推進する為、地方からもどんどん声をあげましょう！『安心して子供を産み育てられる堺』それが最も大事です。

中小企業の元気！！

マスコミがいくら景気が回復したと言っても、まだまだ実感できないのが現実ではないでしょうか。そりゃそうです。今の政府の政策は特に関西や堺のような中小企業や個人事業主中心の地域に向けた政策枠組みではありません。

政令市になった今、『堺のことは堺で決める！』これが一番重要です。東京で決められた銀行が一番儲かるような制度ではなく、中小企業への円滑な資金供給のための環境整備をするとともに、地場産業への支援を加速させ『人の顔の見える財政制度改革』を実現します。弱者へのしわ寄せは絶対に許せません。

◆ きばっちゃん ボイス ◆

◆ 木畑ただし ◆
◆ 民主党の堺市中区政府対策 ◆
◆ 委員長に就任しました！ ◆
◆ が ◆



変えます！30才

木畑ただしに聞け！

VOL.1

Q. ところで、なんで政治なん？

A. 祖父も父も鮮魚の卸問屋を営んでいた関係で、休み毎に手伝いに行かされていた事もあり、「将来は商売人になるんや！」と当たり前のように思っていました。ところが小学校5年の時に、突然父が市議員に立候補。結果は残念ながら落選でしたが、堺の未来についてマイクで真剣に訴える父や父の友人達の姿に感動。時は流れて10年後、私はAOLという当時インターネット業界最大の会社の本社があるバージニアに留学しておりました。土地柄アメリカの政治関係者や行政マンと話をすると、日本の商売人と発想が変わらない事に再び感動。様々なバックボーンを持つ人間がそれぞれの志を持って政治に取り組まないと、本当の意味で日本の政治は良くならないんじゃないかとの思いで、衆議院議員の事務所の門を叩いた、22歳の春でした。

Q. 今まで、何しとったん？

A. 昭和51年7月19日生まれの29才です。ロマンチストでマイペースの蟹座のB型。浜寺幼稚園、浜寺昭和小学校、大阪教育大学付属平野中学卒業。若気の至りか、どうしても自分で商売がしたく、教育大学付属平野高校を2年で中退。友人とイベント会社を運営しつつ、大学入学資格検定試験に合格。その後甲南大学法学部卒業。学生時代から衆議院議員の秘書として政治活動を開始。アメリカバージニア州やワシントンDC等で半年間のインターン研修。一度衆議院議員秘書として社会に出るも、より充実した政策立案にはまだまだ勉強が必要である事を痛感。同志社大学大学院法学研究科政治学専攻に入学するが、公設秘書としての東京勤務の為2年休学。やっとの思いで今年修士論文を書き上げて、今秋卒業予定です。